

2004年2月23日

中部飼料株式会社

お知らせ

平素は“ごまたまご”をご愛顧賜り誠に有難うございます。
鳥インフルエンザの件と、当社たまごの安全・安心の取り組みについてお知らせします。

1. 鳥インフルエンザに関するお知らせ

鳥インフルエンザに対する農林水産省の発表（平成16年1月12日及び平成16年2月17日）

- イ．鳥インフルエンザが国内で79年ぶりに発生した。
- ロ．発生場所を中心に半径30km以内の区域に於いて、鶏などの家きん類、病原体を拡げる恐れのある物品等移動の制限を行った。
- ハ．感染農場の鶏は処分され、建物や周囲の徹底消毒が行われた。
- ニ．平成16年1月12日の発生に関して、平成16年2月19日にて、幸いにもその後の検査で鳥インフルエンザの発症が認められないことが確認され移動禁止は解除された。

<鳥インフルエンザ Q&A>

Q-1.鳥インフルエンザとは？

A. 鶏、アヒル、七面鳥、うずら等が感染する病気で、鳥インフルエンザウィルスが引き起こすもので、主に神経系、呼吸器系、消化器系などに症状する。

Q-2.人間が鶏の卵や肉を食べても大丈夫ですか？

A. 厚生労働省から発表されましたが、人間が鶏の卵や肉を食べて感染した例は世界でも報告されていない。

Q-3.鳥インフルエンザウィルスが卵に付着したり、肉に残っている可能性はありますか？

A. 万が一卵の表面に付着することがあっても、パッキング工場で卵殻の表面は洗浄、殺菌、乾燥し出荷しています。

肉に残っていても、75度以上で1分間の加熱で死滅するので、加熱調理して食べれば大丈夫と報道されています。

2. 当社の鶏卵の「安全・安心」と「衛生面」に対する取り組みを継続的に実施し皆様方に、より安心して毎日美味しく卵を食べていただけます様、下記実施している内容をお知らせいたします。

「安全・安心」な卵をお届けする為に

農場に対して

イ．外部からの入場者制限

外来車両の消毒殺菌の徹底。

外来者の方に対しては、「入・退室の記録」と「記録の保管」を実施。

通常は外来者に対しては、入場制限しておりますが、やむを得ず入場する際は、「着替えの実施」と「靴の履き替え」を実施。着衣及び靴に関しては、「消毒・殺菌済」の物を使用。

ロ．外部環境からの予防

農場周辺及び鶏舎内の徹底した消毒の継続実施と防虫・防鼠対策。

防鳥対策。（防鳥ネットの使用）

農場周辺の同業他社との連携。（情報交換と協力依頼）

ハ．農場従事者の対応

常に清潔な作業着の使用と靴の履き替え及び、農場内に入る際の徹底した着衣の噴霧消毒と手足の消毒を実施。

健康管理＝定期的な健康診断を実施。

ニ．当社専属「国際HACCPインストラクター」取得者によるチェック

「安全」に対し年間スケジュールに沿ったチェック項目を定期的に巡回し確認・指導する。

問題点がある場合は、その場で指摘し、改善内容を再チェックする。

鶏の体調検査と農場内（鶏舎、鶏等）の細菌検査（サルモネラ菌等）。

GPセンター（パッキングセンター）に対して

イ．外部からの入場者制限

外来者の方に対しては、「入・退室の記録」と「記録の保管」を実施。

通常は外来者に対しては、入場制限しておりますが、やむを得ず入場する際は、「着替えの実施」と「靴の履き替え」を実施。着衣及び靴に関しては、「消毒・殺菌済」の物を使用。

ロ．G Pセンター従事者の対応

常に清潔な作業着の使用と靴の履き替え及び、G P内に入る際の徹底した着衣の噴霧消毒及び手足の消毒を実施。

健康管理＝定期的な健康診断及び検便を実施。

ハ．当社専属「国際H A C C Pインストラクター」取得者によるチェック

「安全」に対し年間スケジュールに沿ったチェック項目を定期的に巡回し確認・指導する。

作業工程に沿った細菌検査（サルモネラ菌）の実施と目視による衛生管理チェックの実施。

問題点がある場合は、その場で指摘し、改善内容を再チェックする。

製品の安全性に対して

イ．卵の品質に対し検査の実施

パック卵（製品）の鮮度検査を毎日実施。

細菌検査（サルモネラ菌等） - 卵殻表面、卵内容物、定期的に検査実施。

飼料の安全性に対して

イ．当社の飼料製造工場で製造し、原料、製品の品質検査、細菌検査（サルモネラ菌等）を定期的実施。

以上